



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 ジェコー株式会社
 コード番号 7768 URL <http://www.jeco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 杉浦 さとし
 (氏名) 葛巻 貞行
 TEL 048-556-7111

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	19,324	5.2	44		17	97.2	413	
2019年3月期第3四半期	20,393	12.7	571	13.8	625	4.3	328	21.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 429百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 321百万円 (37.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	248.21	
2019年3月期第3四半期	196.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	20,070	14,195	70.7
2019年3月期	20,898	14,758	70.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 14,195百万円 2019年3月期 14,758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		50.00		50.00	100.00
2020年3月期		30.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点で2020年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	5.3	10	98.4	60	91.3	370		222.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	1,675,805 株	2019年3月期	1,675,805 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	9,242 株	2019年3月期	9,242 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	1,666,563 株	2019年3月期3Q	1,666,640 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当社の配当につきましては、安定した利益配分を目指し、業績及び将来の事業展開を勘案して実施していきたいと考えております。しかしながら、経営環境の先行きが依然不透明であるため、当期の期末配当につきましては、現時点で未定とし、今後の業績動向を勘案した上でご提案させていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は19,324百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。損益につきましては、急激に拡大しているセンサ系製品である安全運転支援部品に係る償却費負担の増加や、生産拡大への必要人員確保費用が膨らんだこと、さらには品質強化対応のための費用が嵩んだことなどにより、営業損失44百万円（前年同四半期は営業利益571百万円）となりました。経常利益は、固定資産売却益を計上したことなどにより17百万円（前年同四半期比97.2%減）となりましたが、当面の業績見込みを踏まえ、繰延税金資産の取崩しを行ったことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は413百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益328百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

既存車種のモデルチェンジや客先生産台数の減少により自動車時計などの表示系製品は減少しましたが、センサ系製品である安全運転支援部品の販売量増加により、外部顧客に対する売上高は17,965百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。損益につきましては、安全運転支援部品の急激な増産対応のための先行投資による償却費増や、品質対応による費用の発生等により、セグメント損失は118百万円（前年同四半期はセグメント利益348百万円）となりました。

②アジア

既存車種のモデルチェンジ等による自動車時計の販売量が大幅に減少し、外部顧客に対する売上高は1,358百万円（前年同四半期比55.4%減）となりました。損益につきましては、売上減少による操業度損により、セグメント利益は43百万円（前年同四半期比77.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、設備投資により有形固定資産が増加したものの、関係会社預け金や売上債権の減少等により、前連結会計年度末に比べ827百万円減少し、20,070百万円となりました。

負債は、賞与引当金や繰延税金負債等が増加したものの、仕入債務や未払費用等の減少により、前連結会計年度末に比べ265百万円減少し、5,874百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ562百万円減少し、14,195百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期までの連結業績を踏まえ、通期の業績予想を修正しております。詳細は本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	929,686	950,339
受取手形及び売掛金	4,062,733	3,740,656
商品及び製品	358,046	392,739
仕掛品	431,157	448,599
原材料及び貯蔵品	1,698,555	1,654,034
関係会社預け金	4,769,169	3,535,910
その他	106,032	91,234
流動資産合計	12,355,381	10,813,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,762,351	1,786,021
機械装置及び運搬具(純額)	3,497,740	3,601,157
その他(純額)	1,982,205	2,605,228
有形固定資産合計	7,242,297	7,992,406
無形固定資産	64,998	109,596
投資その他の資産	1,235,340	1,154,696
固定資産合計	8,542,636	9,256,698
資産合計	20,898,018	20,070,212
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,290,259	2,016,641
未払法人税等	40,388	53,138
賞与引当金	—	246,450
その他の引当金	47,844	37,698
その他	2,194,060	1,679,595
流動負債合計	4,572,553	4,033,523
固定負債		
役員退職慰労引当金	60,670	106,630
退職給付に係る負債	1,381,800	1,391,079
資産除去債務	123,344	125,312
その他	1,050	217,718
固定負債合計	1,566,865	1,840,741
負債合計	6,139,419	5,874,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,777	1,563,777
資本剰余金	2,198,186	2,198,186
利益剰余金	10,677,507	10,130,522
自己株式	△37,661	△37,661
株主資本合計	14,401,810	13,854,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217,605	239,074
為替換算調整勘定	15,491	3,136
退職給付に係る調整累計額	123,692	98,911
その他の包括利益累計額合計	356,788	341,121
純資産合計	14,758,599	14,195,947
負債純資産合計	20,898,018	20,070,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	20,393,605	19,324,026
売上原価	18,637,990	18,240,740
売上総利益	1,755,615	1,083,286
販売費及び一般管理費	1,183,763	1,128,092
営業利益又は営業損失(△)	571,851	△44,805
営業外収益		
受取利息	1,234	1,344
受取配当金	18,534	14,012
固定資産売却益	56,865	59,584
作業くず売却益	7,610	5,707
その他	9,477	19,947
営業外収益合計	93,722	100,595
営業外費用		
支払利息	—	2,026
固定資産廃棄損	17,893	6,943
固定資産売却損	1,817	1,057
減価償却費	1,901	4,875
為替差損	13,330	10,535
その他	4,902	12,977
営業外費用合計	39,845	38,415
経常利益	625,728	17,373
特別損失		
減損損失	24,318	—
関係会社整理損	54,807	—
特別損失合計	79,125	—
税金等調整前四半期純利益	546,602	17,373
法人税、住民税及び事業税	65,962	95,971
法人税等調整額	153,376	335,062
法人税等合計	219,338	431,033
四半期純利益又は四半期純損失(△)	327,264	△413,659
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△820	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	328,085	△413,659

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	327,264	△413,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,701	21,469
為替換算調整勘定	41,326	△12,354
退職給付に係る調整額	△9,434	△24,781
その他の包括利益合計	△5,810	△15,666
四半期包括利益	321,454	△429,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	331,214	△429,326
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,760	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。本会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。これにより、原則として借手としてのすべてのリースを連結貸借対照表の有形固定資産「その他」、流動負債「その他」および固定負債「その他」に計上しております。

なお、この変更による連結損益計算書に与える影響は軽微であります。